ファンクションユニット **ウィルモダンスリム**

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

⚠注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工,組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
●梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<照明付仕様での設置場所について>

⚠注意

●明るさセンサ側に障害物がないように取付けてください。障害物があると点滅を繰り返すことがあります。
●昼間でも暗い場所への取付けをお避けください。早く点灯、遅く消灯することがあります。
●夜間でも明るい場所への取付けをお避けください。点灯しないことがあります。

＜施工上のご注意＞

⚠ 注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
●ラスターブラック色は、キズがつきやすいので施工の際は取扱いに十分注意してください。

＜基礎工事について＞

⚠ 注 意

●基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決められていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結材など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートは、速やかに拭取ってください。

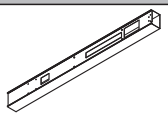
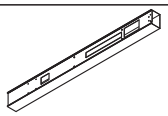
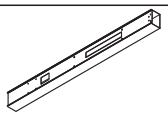
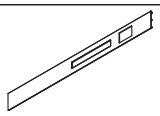
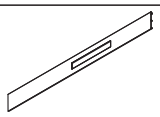
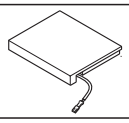
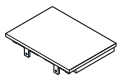
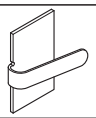
＜電気配線工事について＞

⚠ 注 意

●AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
●DC12V内蔵トランスの電源工事およびAC100Vの照明器具は、D種接地工事を行なってください。
●照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
●照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線を含む）を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm^{2}のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
●照明付きの場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
●機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。
●インターホン用配線に使用するY端子は、1.25-3を別途準備してください。
●「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明器具が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

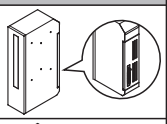
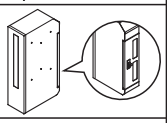
■梱包明細表

【1】柱セット

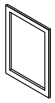
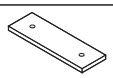
名　　称	略　図	員 数			
		サイン照明付き インターホン用	サイン照明付き	インターホン用	加工なし
支柱 サイン照明･インターホン用		1	1	—	—
支柱 インターホン用		—	—	1	—
支柱 加工なし		—	—	—	1
フロントカバー インターホン用		1	—	1	—
フロントカバー 加工なし		—	1	—	1
支柱キャップ サイン照明付き		1	1	—	—
支柱キャップ		—	—	1	1
インターホン取付金具		1	—	1	—
配線固定ステッカー		8	8	8	8
【1-1】M4×6トラス(D=8)		2	2	2	2
【1-2】φ4×10特サラタッピン(D=6)3種		4	4	4	4
【1-3】φ4×10トラスタッピン(D=8)3種		4	4	4	4
【1-4】φ4×12トラスタッピン(D=8)3種		2	2	2	2
【1-5】M4六角ナット		2	2	2	2
【1-6】M5×8 十字穴付六角ボルト(SW)		4	4	4	4
取付説明書〈A459〉	—	1	1	1	1
取扱説明書〈UA171〉	—	1	1	1	1
取付説明書 加工指示書		1	1	1	1

■梱包明細表(つづき)

【2】スリム縦型ポスト

名　称	略　図	員　数	
		プッシュ錠付き	錠なし
ポスト本体 プッシュ錠付き		1	—
ポスト本体 錠なし		—	1
取付説明書〈A460〉	—	1	1
取扱説明書〈UA172〉	—	1	1

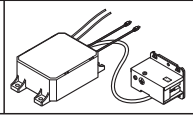
【3】インターホンカバーセット

名　称	略　図	員　数	
		3社対応	VL-V565 VL-V566用
インターホンカバーセット		1	—
インターホンカバー VL-V565･V566用		—	1
インターホンカバーパッキン		1	—
スペーサー		—	2

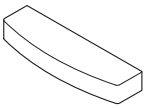
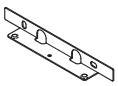
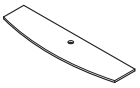
【3】インターホンカバーセット(つづき)

名　称	略　図	員　数	
		3社対応	VL-V565 VL-V566用
【3-1】φ4×16トラスタッピン3種		—	2

【4】DC12V内蔵トランス電源

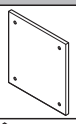
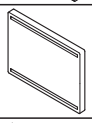
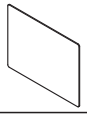
名　称	略　図	員　数
内蔵トランス		1

【5】スリムサインライト

名　称	略　図	員　数
スリムサインライトカバー		1(※)
取付ベース		1(※)
アクリルカバー		1(※)
【5-1】φ4×10特サラタッピン(D=6)3種		3(※)
【5-2】φ4×10トラスタッピン(D=8)3種		2

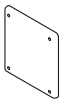
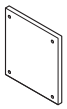
※あらかじめ組付けて出荷しています

【6】サイン(ガラスサイン･鋳物サイン･ステンレスサイン)

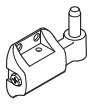
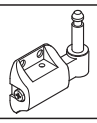
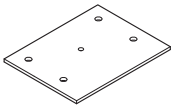
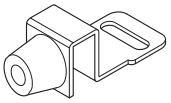
名　称	略　図	員　数			
		ガラスサイン	鋳物サイン	ステンレスサイン	ガラスサイン(特注)
ガラスサイン		1	—	—	1
鋳物サイン		—	1	—	—
ステンレスサイン		—	—	1	—
ネームシール		2(※)	1	1	—
【6-1】化粧ネジ M4用		4	—	—	4
【6-2】M4×20ナベ(SW+PW)		4	—	—	4
【6-3】ゴムスペーサー L=6		4	—	—	4
【6-4】M4ゴムワッシャー		4	—	—	4
【6-5】φ4×6トラスタッピン(D=8)3種		—	2	—	—
【6-6】M4六角ナット		—	—	4	—

※黒文字と白文字の2種類同梱しています

【7】サイン(江戸硝子サイン・備前焼サイン)

名　称	略　図	員 数	
		江戸硝子サイン(特注)	備前焼サイン(特注)
江戸硝子サイン 150角		1	ー
備前焼サイン 145角		ー	1
【7-1】化粧ネジ M4用		ー	4
【7-2】化粧ネジ M6用		4	ー
【7-3】M6高ナット L=15		4	ー
【7-4】M6ゴムワッシャー		8	ー
【7-5】M4全ネジ L=25		ー	4
【7-6】M6全ネジ L=40		4	ー
【7-7】M4六角ナット		ー	4
【7-8】M6六角ナット		4	ー

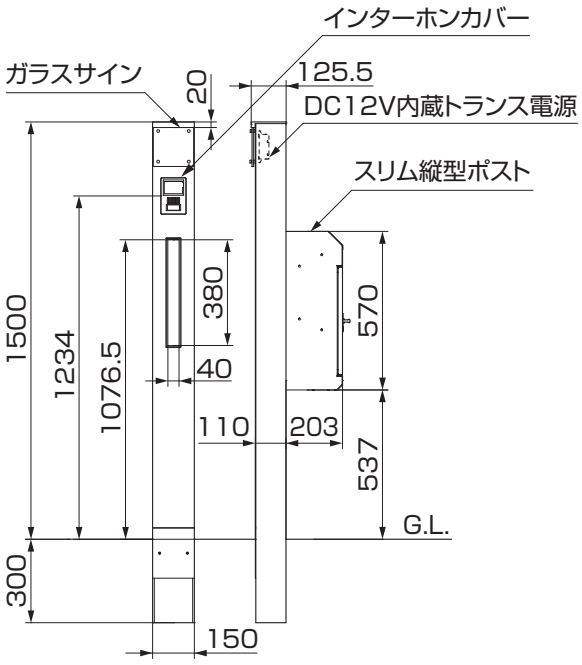
【8】門扉取付部品

名　称	略　図	員 数
調整金具(上)		1
調整金具(下)		1
調整金具固定裏板		2
門扉ストッパー		1
ワッシャー		2
【8-1】M5×12トラス小ネジ		8
【8-2】φ4×10トラスタッピン(D=8)3種		2
【8-3】M5×10ナベ小ネジ(SW+PW)		1
【8-4】M5六角ナット		1
取付説明書〈A423〉	ー	1

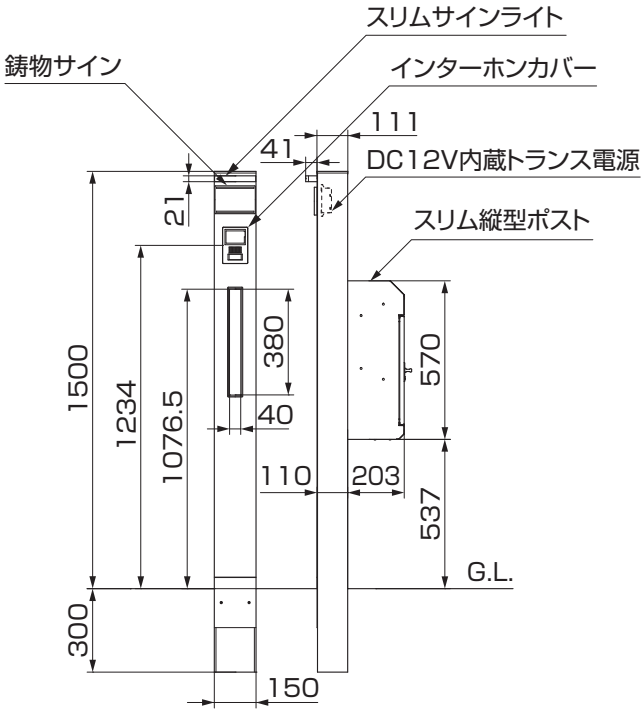
1. 各部の名称および基本寸法図

1-1 単独仕様

（1）サイン照明付きの場合

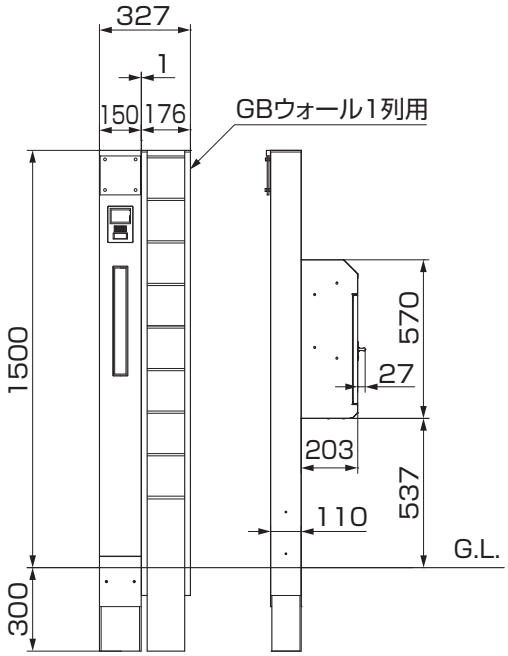


（2）スリムサインライト・鋳物サイン取付けの場合

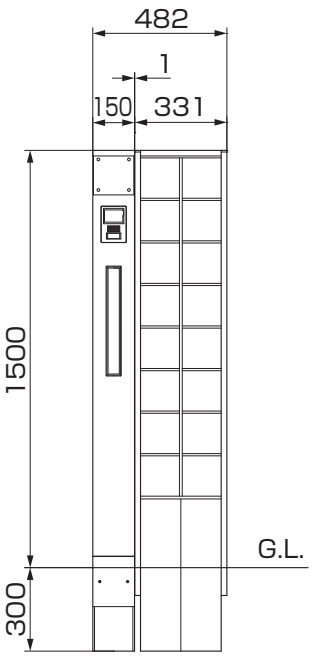


1-2 GBウォール併設

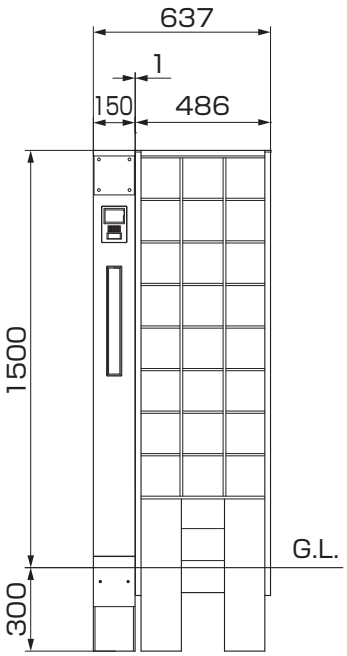
（1）GBウォール1列用併設



（2）GBウォール2列用併設

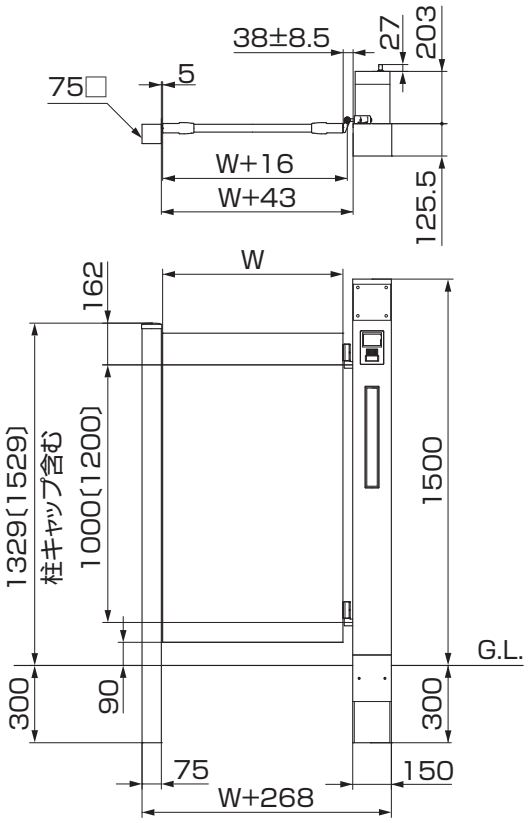


（3）GBウォール3列用併設

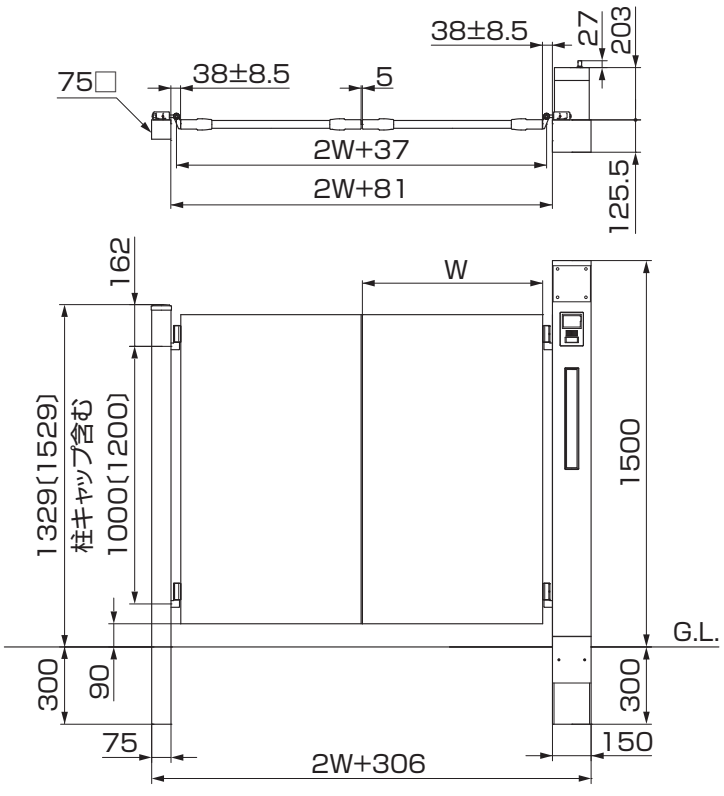


A459_200903B

1-3 門柱仕様 片開き

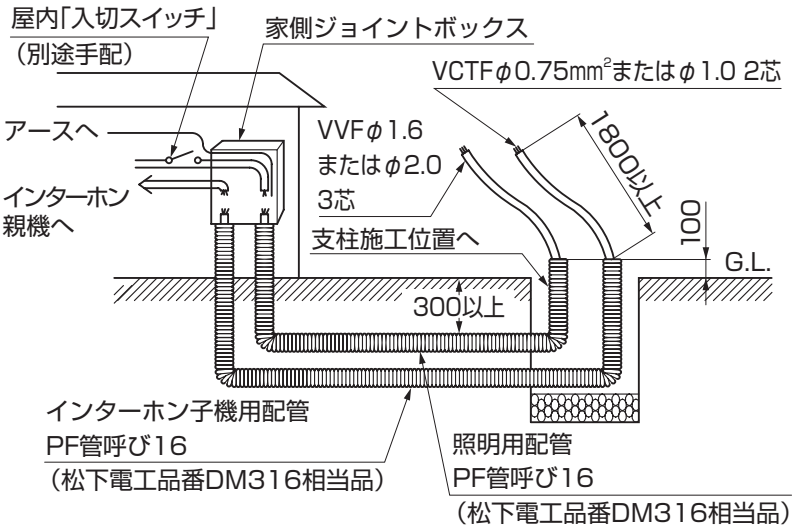


1-4 門柱仕様 両開き



2. 基礎工事と配線 ※配線工事は照明・インターホンを取付ける場合の加工です。

2-1 配線工事



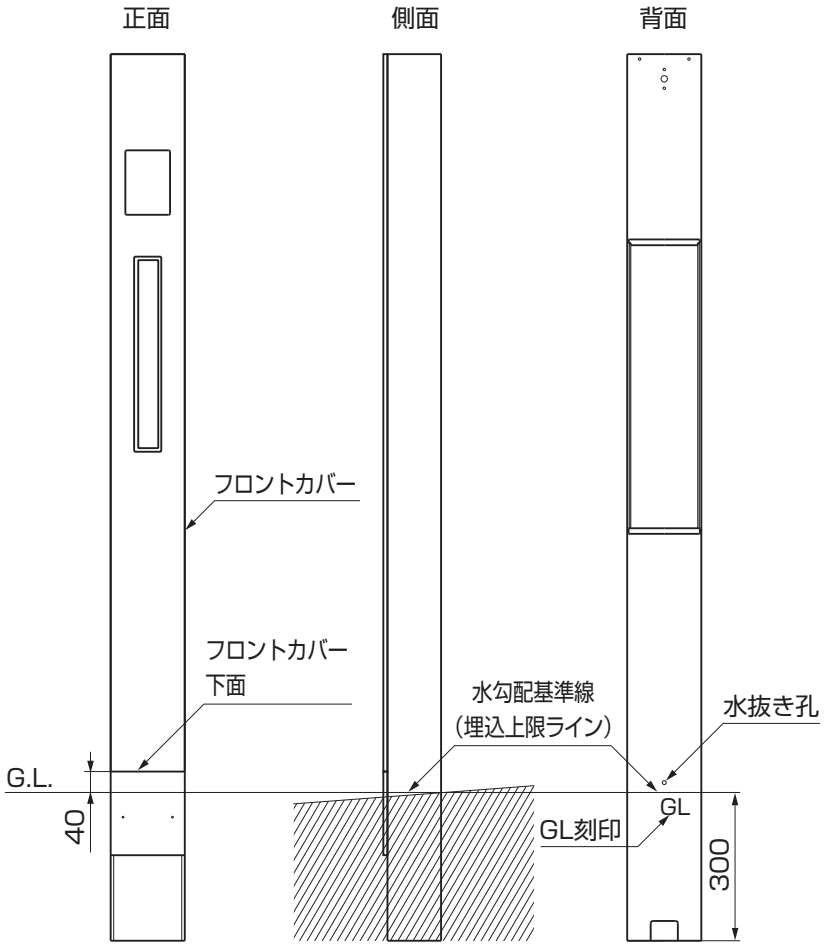
①基礎穴を掘り、栗石を敷いてください。

ポイント

- ●配管はG.L.より100mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- ●照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- ●屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

②照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

2-2 埋込み時のお願い

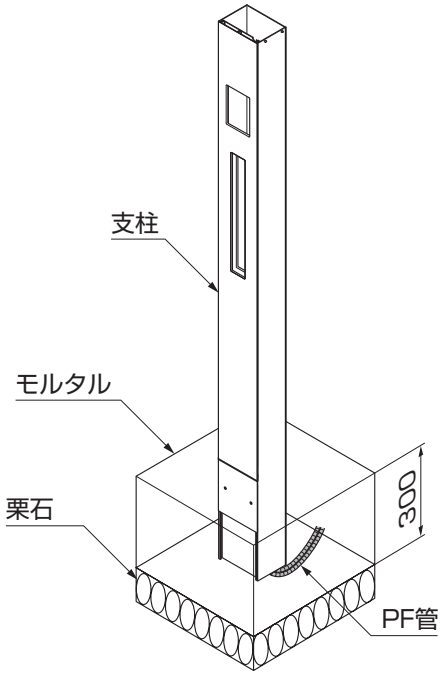


ポイント

- ●正面側は絶対にフロントカバー下面以上に埋めないでください。フロントカバーが取りはずせなくなり、部品の組付けができなくなります。
- ●特に水勾配がある場合は、背面のGL刻印のラインを基準にして施工してください。

A459_200903B

2-3 単独仕様の場合の基礎工事



ポイント

- ●照明またはインターホン用の配管、配線は、支柱内に納めてください。
- ●モルタルが固まるまでカイモノをして、支柱が動かないようにしてください。
- ●養生中は支柱内部に雨水などが入らないようにしてください。

①支柱を垂直に立て、支柱背面のG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。

補足

- ●配線の引き出し方については、「3-2 配線の引き出しと固定」を参照してください。
- ●門扉を取付ける場合、支柱に加工が必要になります。加工の詳細は「9.門柱仕様の取付け」を参照してください。

2-4 GBウォールを併設する場合の基礎工事

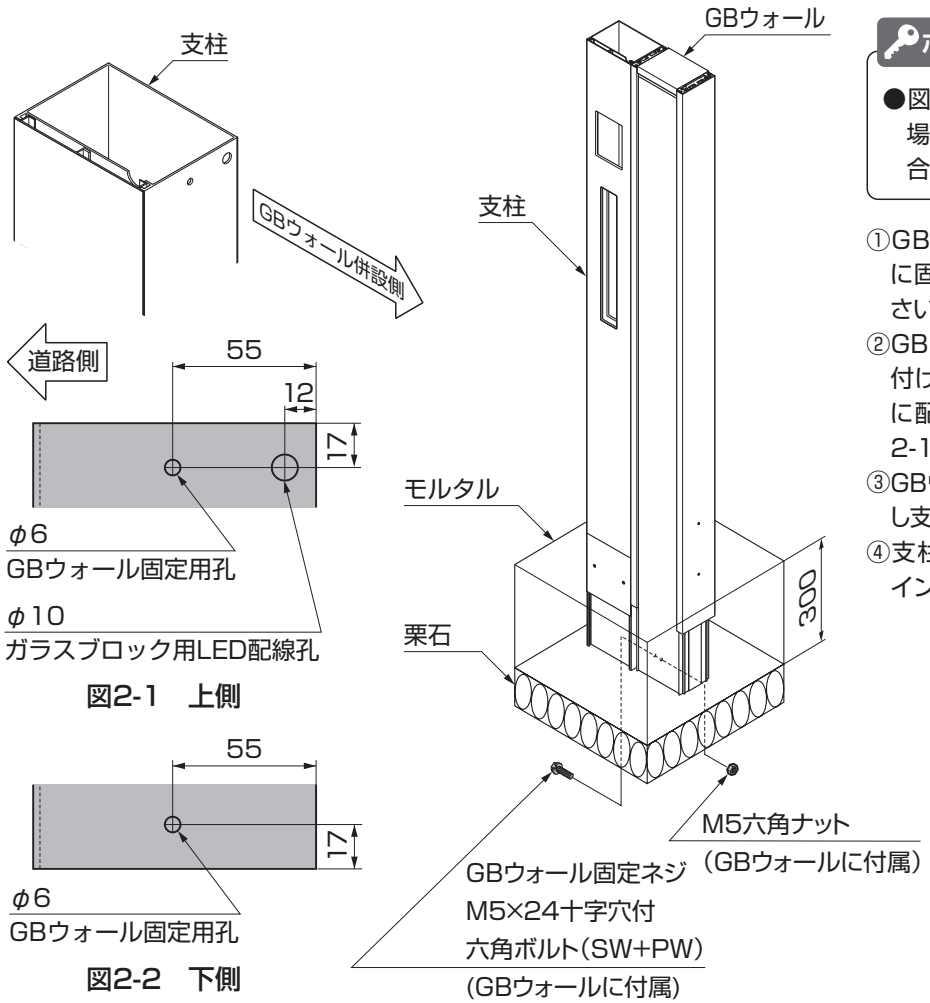


図2-1　上側

図2-2　下側

ポイント

- ●図はGBウォールを外観右に併設する場合を示します。外観左に併設する場合は、加工が図と対称になります。

①GBウォールを併設する側の支柱の側面に固定用の孔を上下2ヶ所加工してください。（図2-1、図2-2参照）
②GBウォールにガラスブロック用LEDを取付ける場合は、併設する側の支柱の側面に配線用の孔を加工してください。（図2-1参照）
③GBウォールの取付説明書〈A461〉を参照し支柱とGBウォールを固定してください。
④支柱を垂直に立て、支柱背面のG.L.ラインまでモルタルで埋めてください。

3. 支柱の配線

3-1 フロントカバーのはずし方と取付け方について

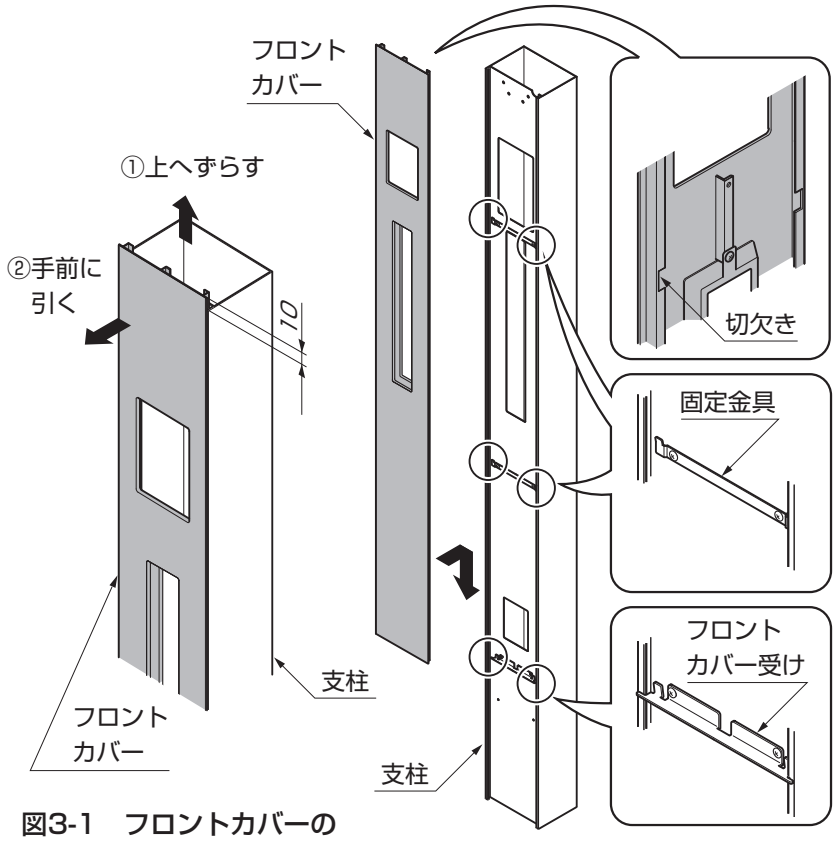


図3-1　フロントカバーの
はずし方

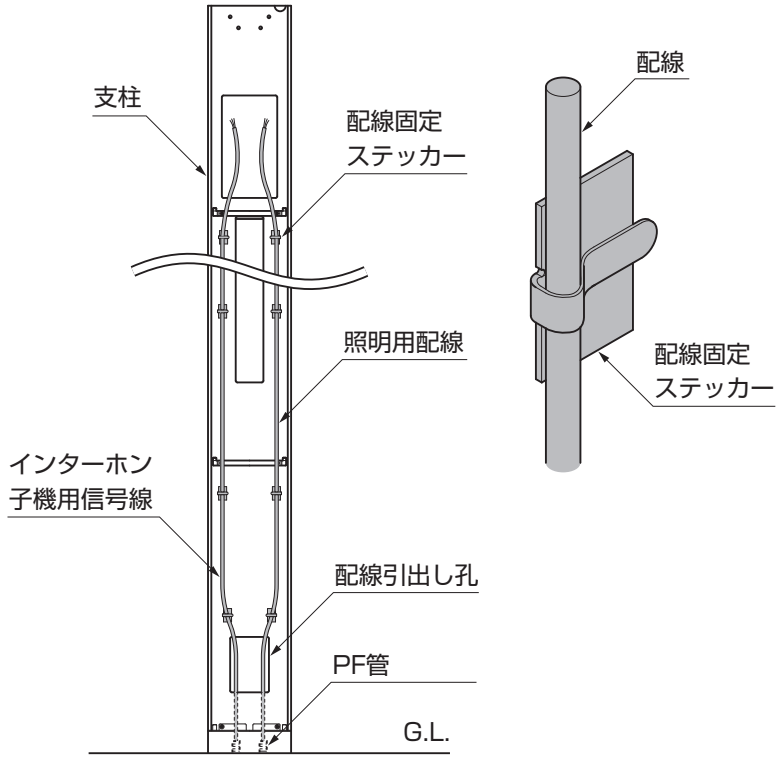
図3-2　フロントカバーの取付け方

①フロントカバーを上方向に約10㎜スライドし、手前に引いてください。(図3-1参照)
②取付ける場合は、フロントカバーの切欠きと支柱の固定金具の位置を合わせ、フロントカバーをおさえながら、下方向にスライドし固定金具とフロントカバー受けにひっかけてください。(図3-2参照)

補足

●フロントカバー取付け後に、支柱との間に浮きがないか確認してください。浮きがある場合、金具がひっかかっていない場合があります。

3-2 配線の引き出しと固定



①フロントカバーをはずし、支柱下部の配線引出し孔から配線を引き出してください。

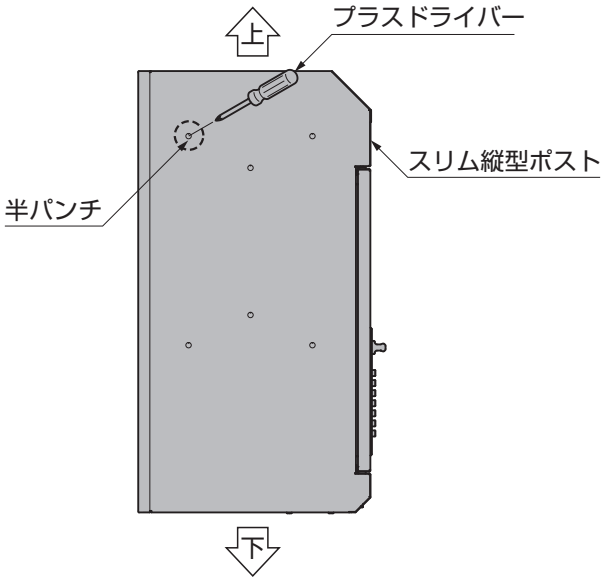
ポイント

●必ず配線固定ステッカーで固定してください。固定しないとフロントカバーが取付けづらくなったり、配線をはさむおそれがあります。
●配線固定ステッカーの位置に注意してください。フロントカバーと干渉しないか確認してから貼り付けてください。

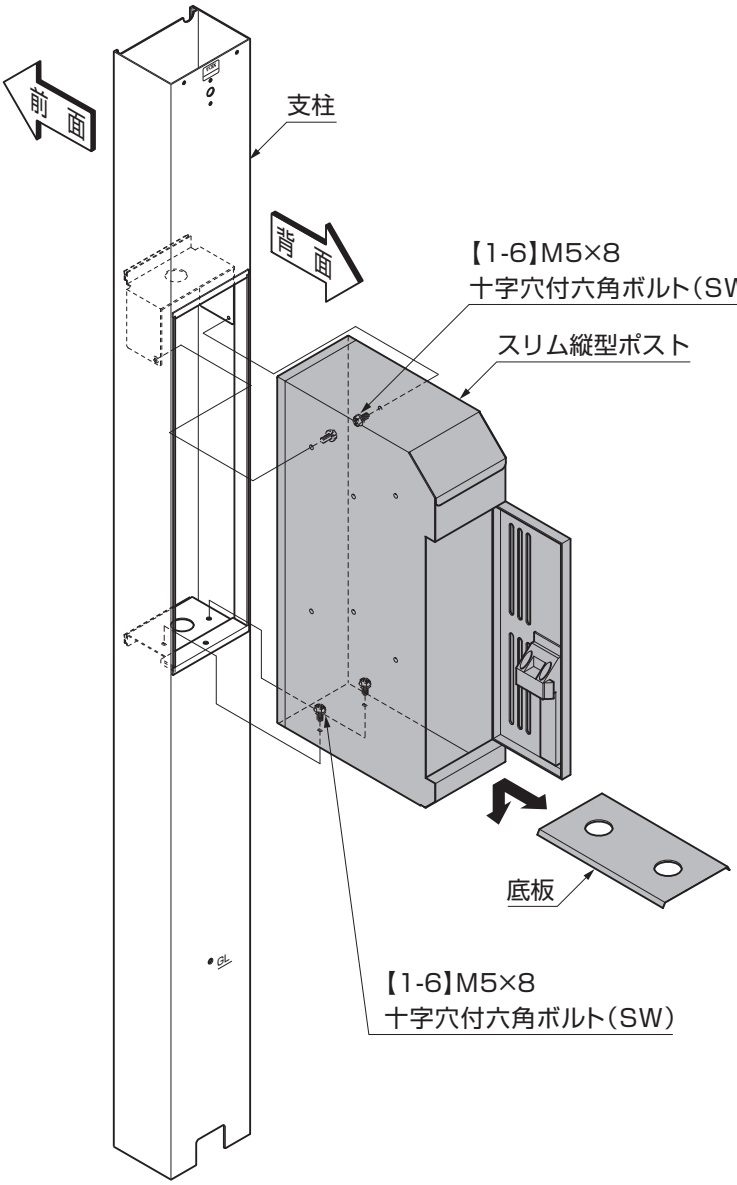
②引き出した配線は、図のように配線固定ステッカーで固定してください。

A459_200903B

4. スリム縦型ポストの取付け



①図にしたがい、スリム縦型ポストの半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて孔をあけてください。



②スリム縦型ポストを支柱背面から挿入し、前面側に突き当ててください。
③スリム縦型ポストの底板をはずしてください。

ポイント

●【1-6】は、側面側を先に固定してください。底を先に固定すると、側面側が取付けづらくなります。

④支柱側面と底面を、【1-6】で固定してください。
⑤はずした底板をポスト内に入れてください。

5. 照明の取付け

5-1 DC12V内蔵トランス電源の取付けと配線

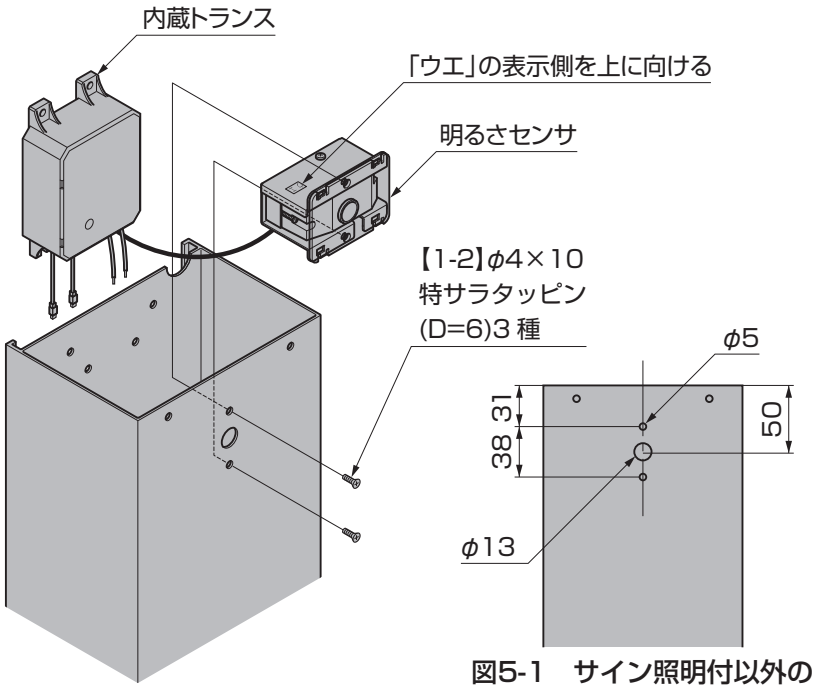
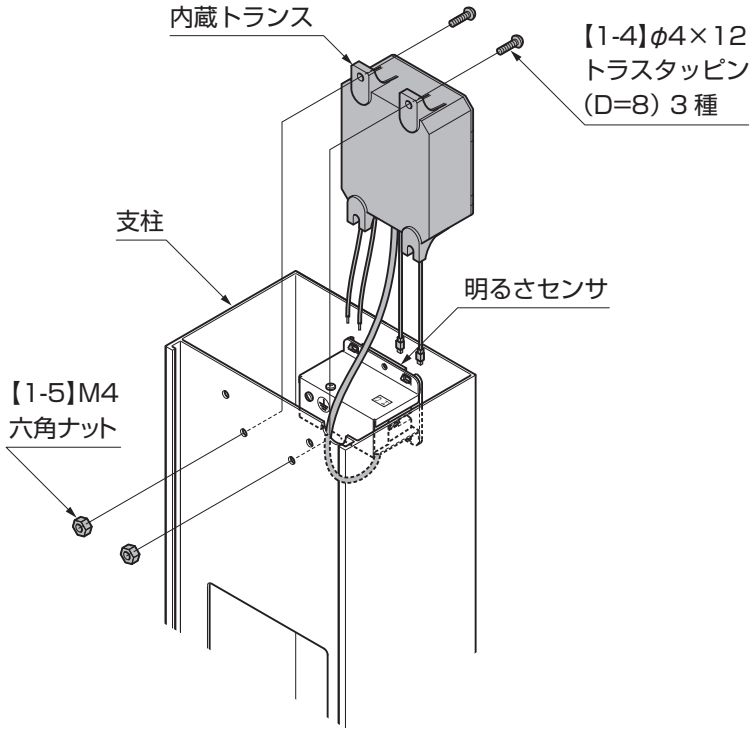


図5-1　サイン照明付以外の
支柱の加工位置

ポイント

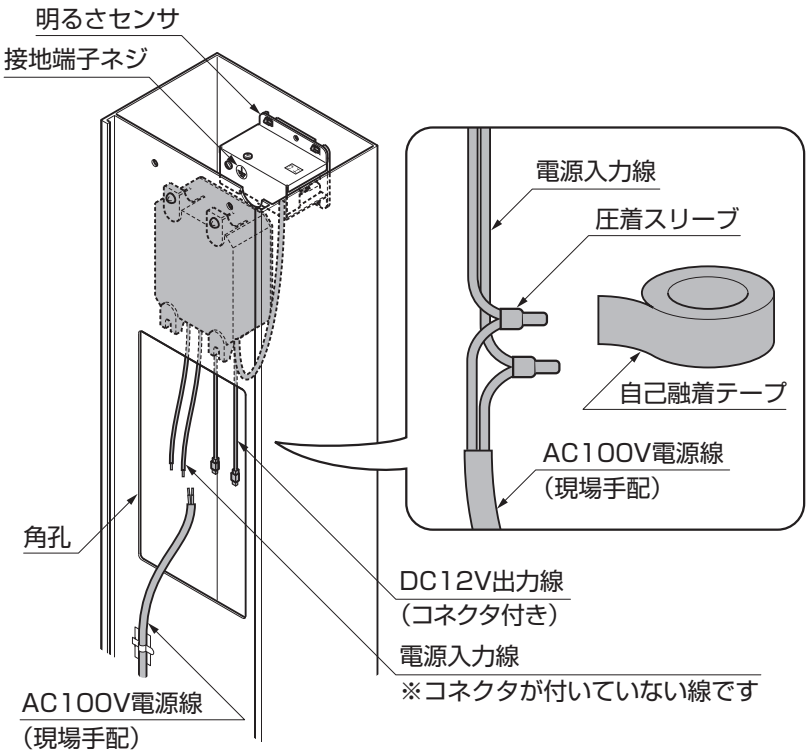
●明るさセンサには上下があります。必ず配線引き出し側を下に向けて取付けてください。反対に取付けた場合、センサ故障の原因になります。

①支柱背面に明るさセンサを【1-2】で固定してください。サイン照明付き以外の支柱にDC12V内蔵トランス電源を取付ける場合、明るさセンサ取付け用の孔加工が必要になります。柱セットに付属している加工指示書にしたがい、孔をあけてください。



②フロントカバーをはずしてください。
③内蔵トランスを柱内部に【1-4】、【1-5】で固定してください。

A459_200802A



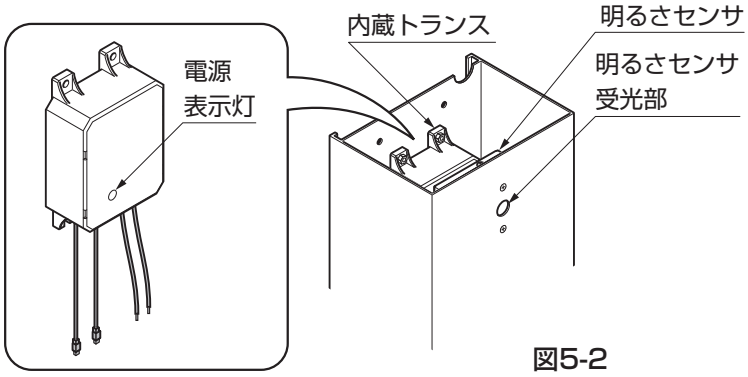


図5-2

⚠ 警 告

- ●配線接続部は圧着スリーブで確実に行い、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災･感電の原因になります。
- ●明るさセンサ部の接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。接続が不完全な場合、感電･火災の原因になります。

ポイント

- ●接続しないコネクタ付き配線は、防水テーピング処理を施してください。
- ●コネクタ付きの線はDC12V出力線です。AC100Vを接続しないでください。

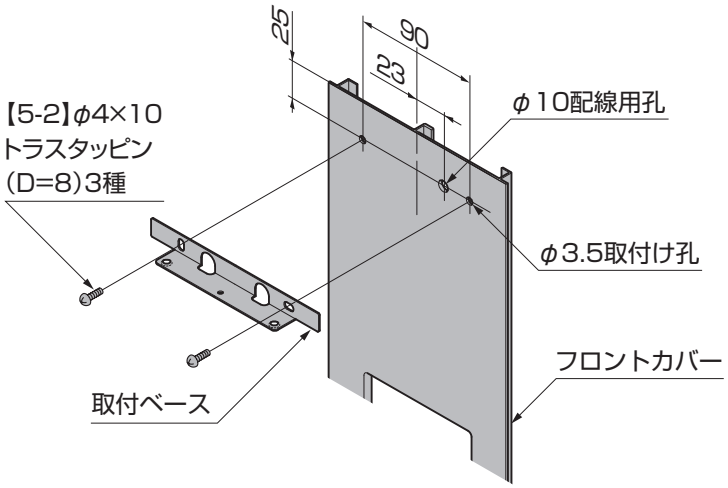
④ AC100V電源線を内蔵トランスの電源入力線に接続してください。

補 足

- ●支柱加工なしの場合は角孔があいてないので、任意の位置に配線用の孔をあけてください。
- ●DC12V内蔵トランス電源は明るさセンサを装備しています。接続した照明は、周囲が暗くなると点灯し、明るくなると消灯します。深夜、消灯したい場合は、屋内の入切スイッチを切にしてください。
- ●昼間、通電確認する場合は、支柱上部と明るさセンサ受光部を黒い布などでふさいでください。電源表示灯が点灯すればDC12Vが正常に出力しています。（図5-2参照）

⑤フロントカバーを取付けてください。

5-2 スリムサインライトの取付けと配線



①フロントカバーをはずしてください。
②柱セットに付属している加工指示書にしたがい、取付け孔と配線用孔をあけてください。
③取付けベースをフロントカバーに【5-2】で固定してください。

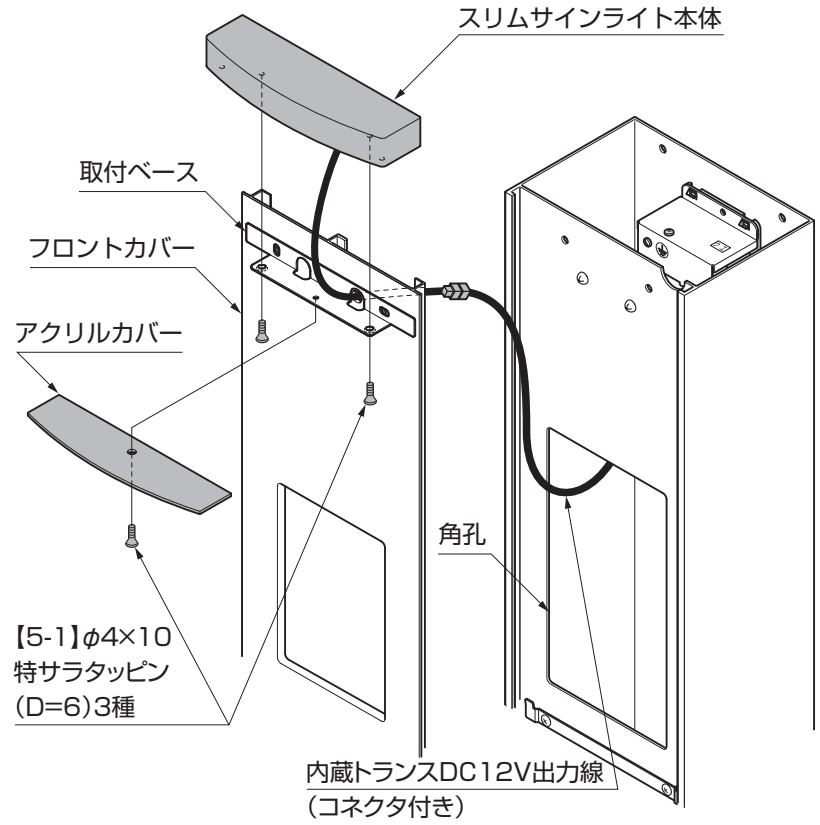
補足

- ●スリムサインライト本体、取付ベース、アクリルカバーは、仮組付けしてあります。取付けの際に各部品を取りはずしてください。

A459_200802A

5. 照明の取付け（つづき）

5-2 スリムサインライトの取付けと配線（つづき）



ポイント

- ●フロントカバー取付けの際、配線をはさまないように注意してください。
- ●アクリルカバーの固定ネジは強く締め付けないでください。アクリルカバーが破損します。
- ●接続しないコネクタ付き配線は防水テーピング処理を施してください。

④配線用孔からスリムサインライト本体の配線を通し、DC12V内蔵トランスのコネクタ付き配線と接続してください。
⑤フロントカバーを取付けてください。
⑥スリムサインライト本体を取付ベースに【5-1】で固定してください。
⑦アクリルカバーを【5-1】で固定してください。

補足

- ●支柱加工なしの場合は角孔があいていないので、任意の位置に配線用の孔をあけてください。
- ●昼間、点灯確認する場合、支柱上部と明るさセンサ受光部を黒い布などでふさいでください。（ P13 図5-2参照）

6. サインの取付け

6-1 ガラスサインの取付け

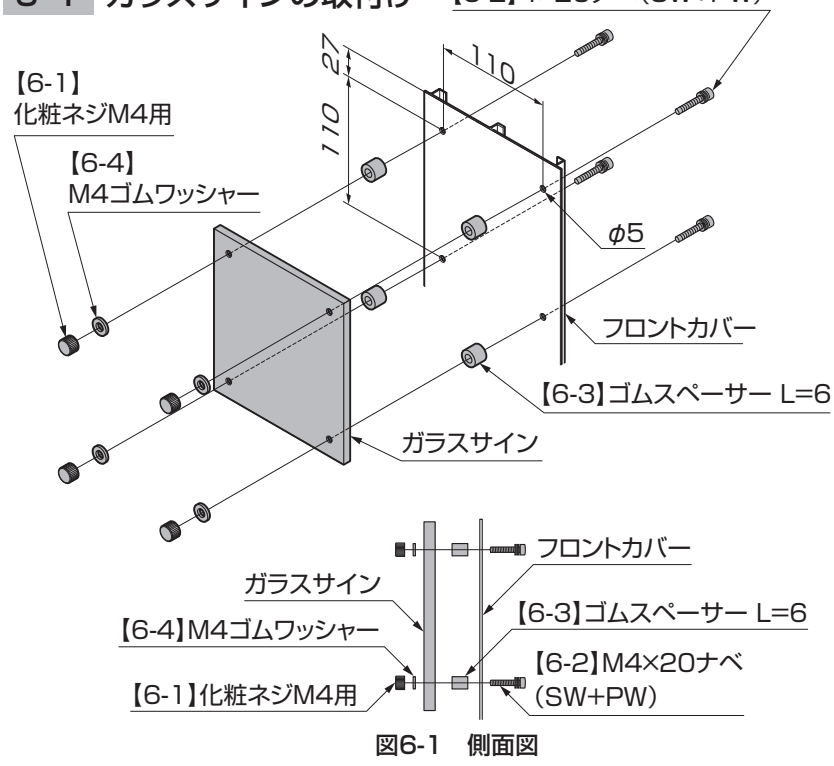


図6-1　側面図

①フロントカバーをはずし、柱セットに付属している加工指示書にしたがい、取付け孔をあけてください。
②フロントカバーをはずし、【6-2】、【6-3】、【6-4】、【6-1】でガラスサインを固定してください。
③フロントカバーを取付けてください。

補足

- ●サインの取付けの際に加工の位置がずれないように加工指示書を付属しています。（図6-2参照）

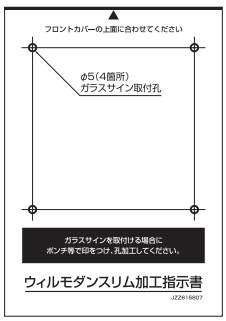


図6-2　加工指示書

A459_200802A

6-2 鋳物サインの取付け

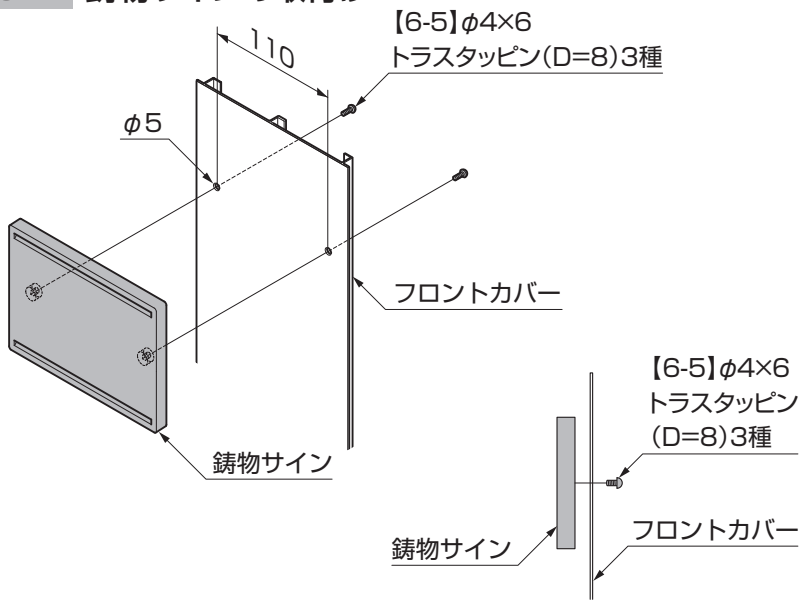


図6-3　側面図

ポイント

●スリムサインライトを取付ける場合、支柱形材上面とサインの上部の隙間を35mm以上あけてください。または付属の加工指示書にしたがって、孔加工してください。

①任意の高さの位置に、図にしたがい取付け孔をあけてください。
②フロントカバーをはずし、【6-5】で鋳物サインを固定してください。
③フロントカバーを取付けてください。

6-3 ステンレスサインの取付け

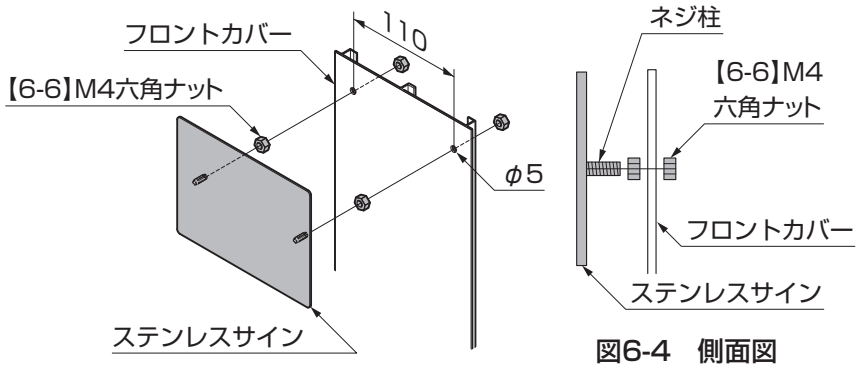


図6-4　側面図

①任意の高さの位置に、図にしたがい取付け孔をあけてください。
②フロントカバーをはずし、【6-6】でステンレスサインを固定してください。
③フロントカバーを取付けてください。

6-4 備前焼サインの取付け

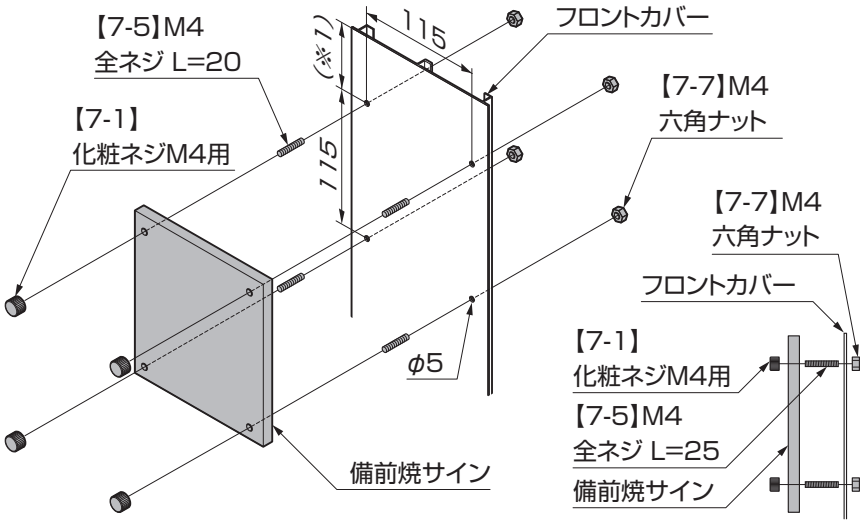


図6-5　側面図

ポイント

●備前焼サインの上にスリムサインライトを取付ける場合、支柱形材上面とサインの取付け孔の寸法を50mm以上あけてください。(※1)

①フロントカバーをはずし、図にしたがいフロントカバーに孔をあけてください。
②図にしたがいサインを固定してください。
③フロントカバーを取付けてください。

A459_200802A

6. サインの取付け（つづき）

6-5 江戸硝子サインの取付け

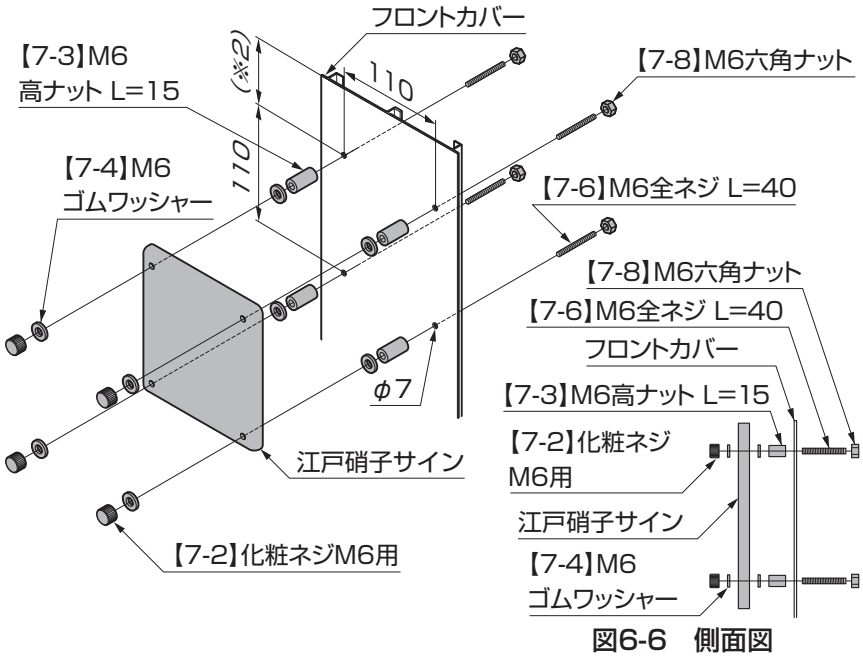


図6-6　側面図

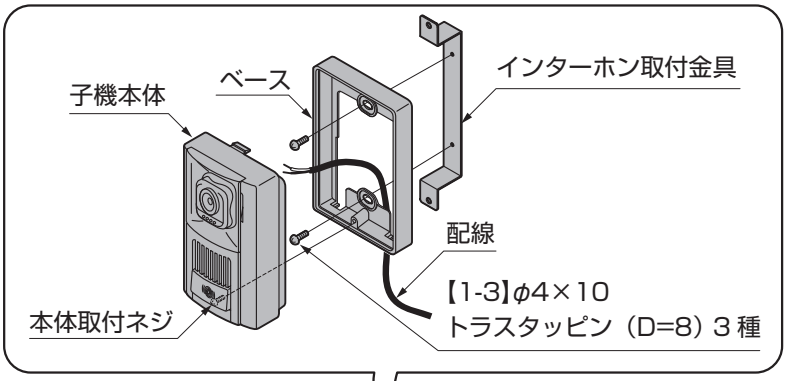
ポイント

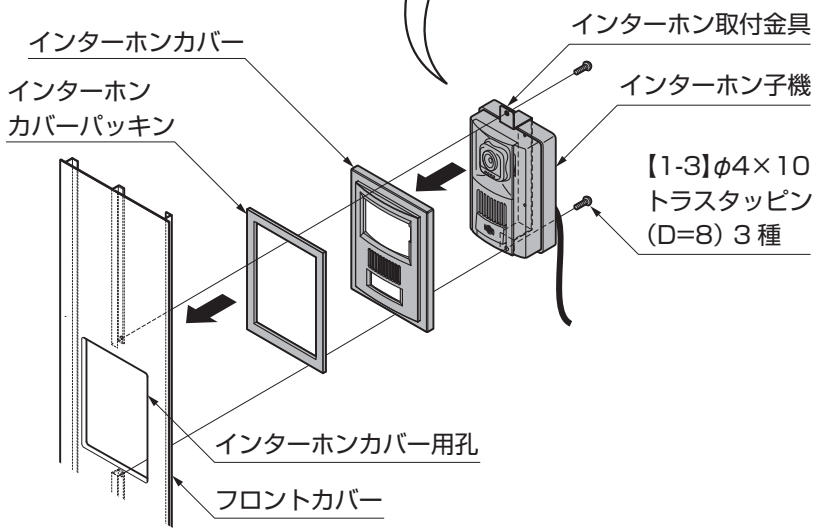
●サイン照明付きの支柱に江戸硝子サインを取付ける場合、支柱形材の上面とサインの取付け孔の寸法を35mm以上あけてください。（※2）

①フロントカバーをはずし、図にしたがいフロントカバーに孔をあけてください。
②図にしたがいサインを固定してください。
③フロントカバーを取付けてください。

7. インターホンの取付けと配線

7-1 インターホンを内蔵する場合





①フロントカバーをはずしてください。

ポイント

●インターホン取付けの前にカメラ位置を調整してください。
●松下電器産業（株）製対応のインターホンカバーVL-V565･VL-V566用の場合は、付属のスペーサーをインターホン取付金具とインターホン子機の間にはさみ、【3-1】で固定してください。（図7-1参照）

②インターホンのベースをインターホン取付金具に【1-3】で固定してください。固定の際に配線を接続してください。配線の詳細はインターホン子機の取付説明書を参照してください。

ポイント

●インターホンカバーパッキンは必ず取付けてください。パッキンを貼付けないと雨水などが浸入し故障の原因になります。

③インターホンカバーにパッキンを貼付け、フロントカバーの角孔にはめてください。
④インターホン取付金具をフロントカバーに【1-3】で固定してください。
⑤フロントカバーを支柱に取付けてください。

A459_200802A

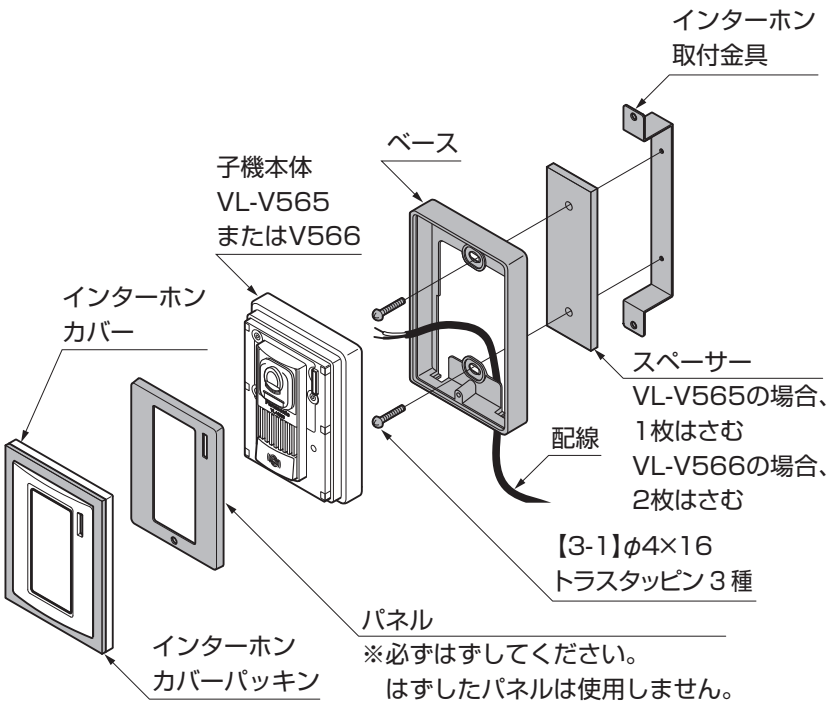
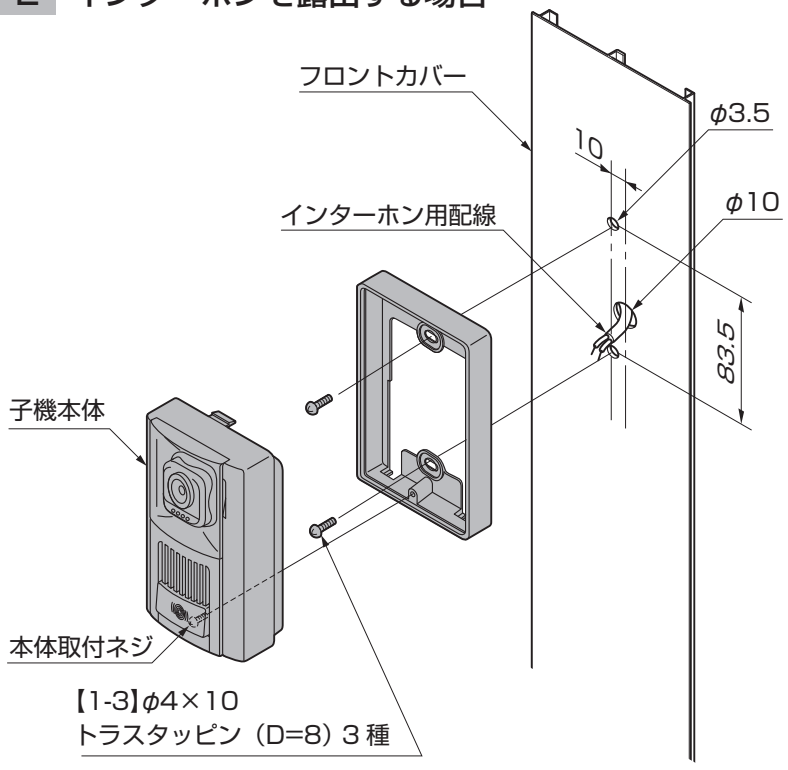


図7-1　インターホンカバーVL-V565・VL-V566用の場合

補足

●VL-V565･VL-V566用は、インターホンカバーパッキンを貼付けてあります。

7-2　インターホンを露出する場合



①フロントカバーをはずしてください。
②フロントカバーの任意の高さに図のように配線用孔φ10、取付孔φ3.5をあけてください。

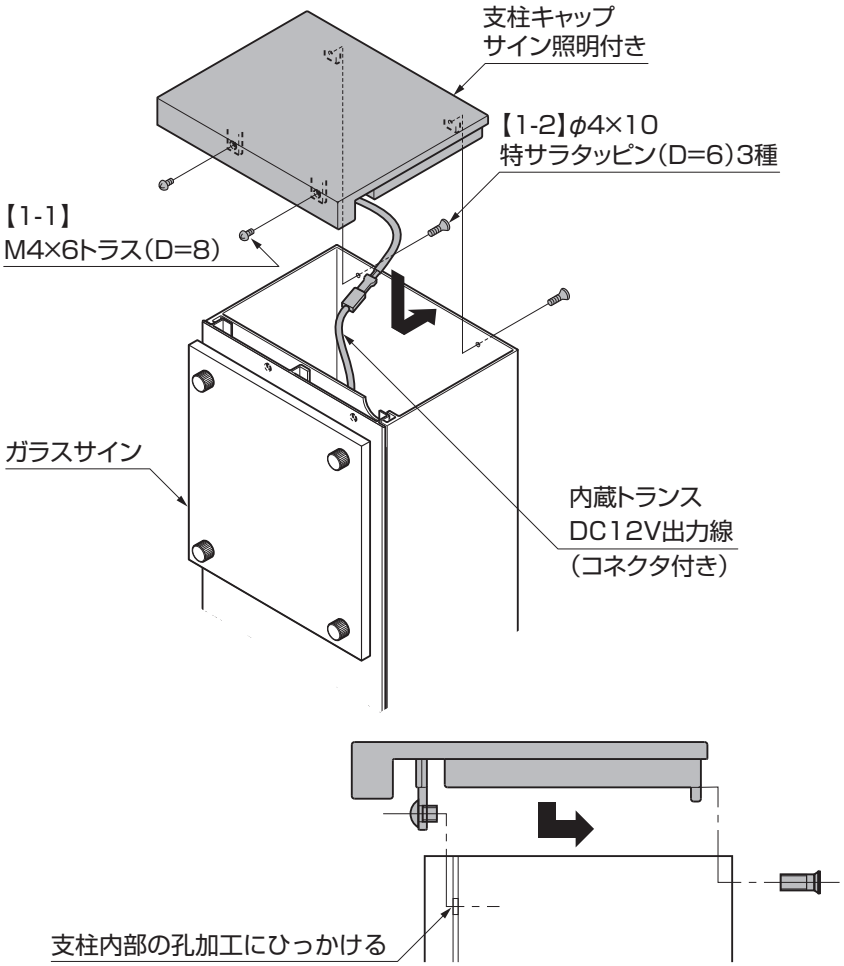
ポイント

●サインや照明を取付ける場合は、インターホンの取付け位置に注意してください。

③配線を配線用孔から引き出してください。
④ベースをフロントカバーに【1-3】で固定してください。
⑤インターホン子機の取付けおよび配線をインターホン子機の取付説明書を参照し行なってください。
⑥フロントカバーを支柱に取付けてください。

8. 支柱キャップの取付け

8-1 支柱キャップサイン照明付きの取付け



ポイント

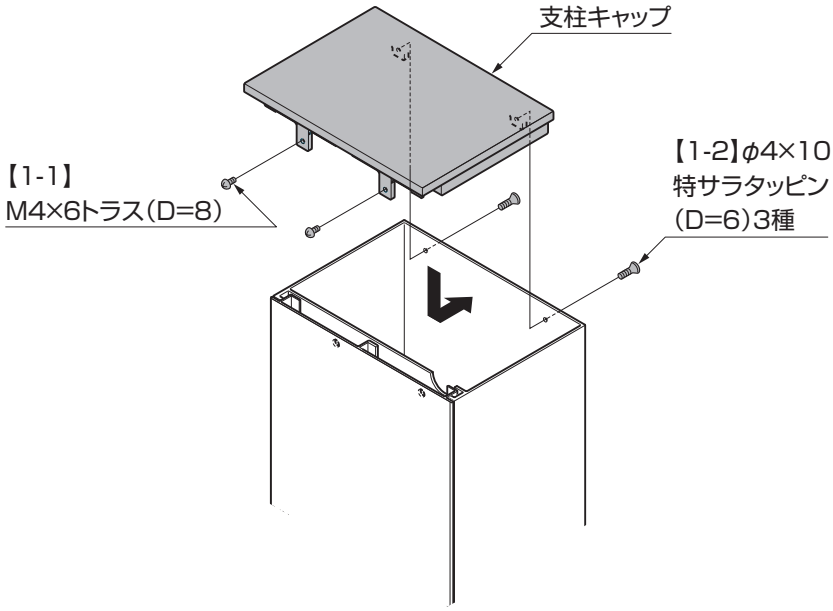
- ●キャップを取付ける際に配線をはさまないように十分に注意してください。
- ●接続しないコネクタ付き配線は防水テーピング処理を施してください。

①支柱キャップに【1-1】を固定してください。
②支柱キャップの配線をDC12V内蔵トランスのコネクタ付き配線に接続してください。
③支柱キャップを【1-2】で固定してください。

補足

- ●昼間、点灯確認する場合、明るさセンサ受光部を黒い布などでふさいでください。(P13 図5-2参照)

8-2 支柱キャップの取付け

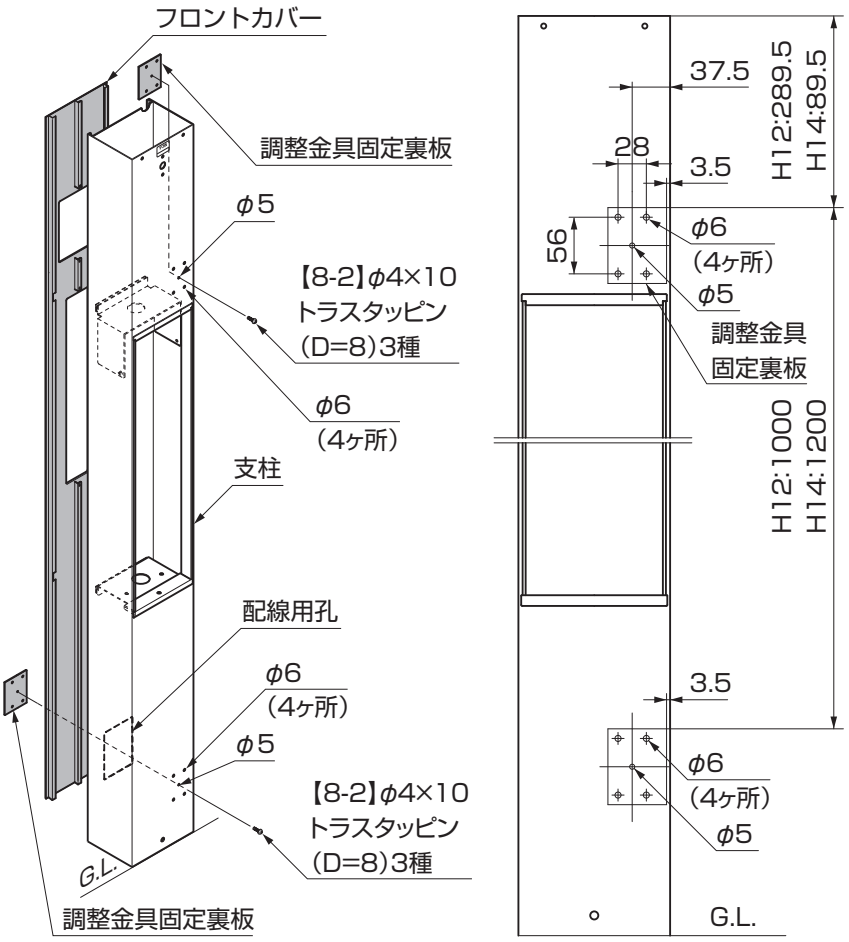


①支柱キャップに【1-1】を固定してください。
②支柱キャップを【1-2】で固定してください。

A459_200903B

9. 門柱仕様の取付け

9-1 調整金具の取付け



①図にしたがい、支柱背面に調整金具固定裏板をあて、孔位置に印をつけ、孔をあけてください。本図は外観右吊元を示します。外観左吊元の場合は、本図の左右対称の位置に孔をあけてください。
②フロントカバーをはずし、調整金具固定裏板を【8-2】で仮固定してください。

補足

●下側の裏板は、支柱の配線用孔から入れてください。

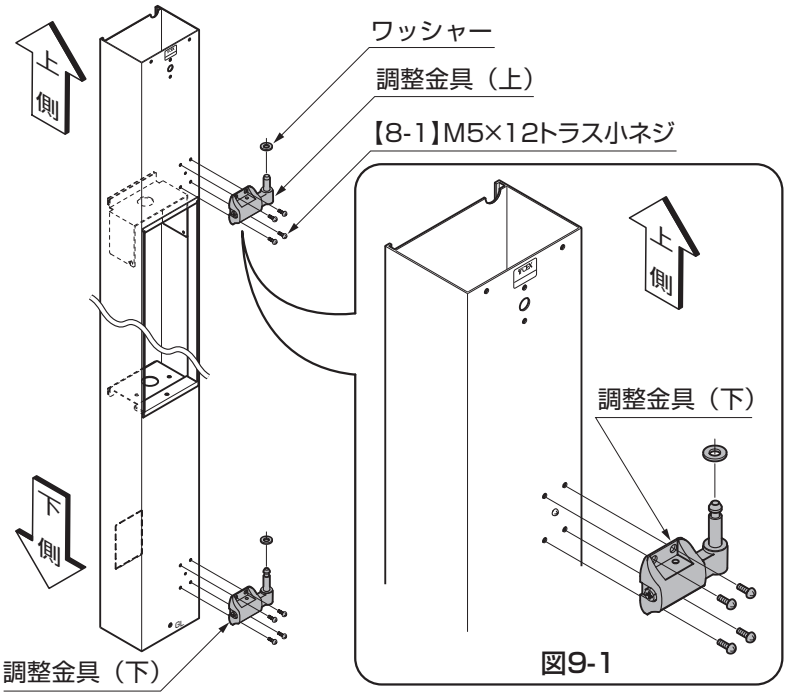


図9-1

ポイント

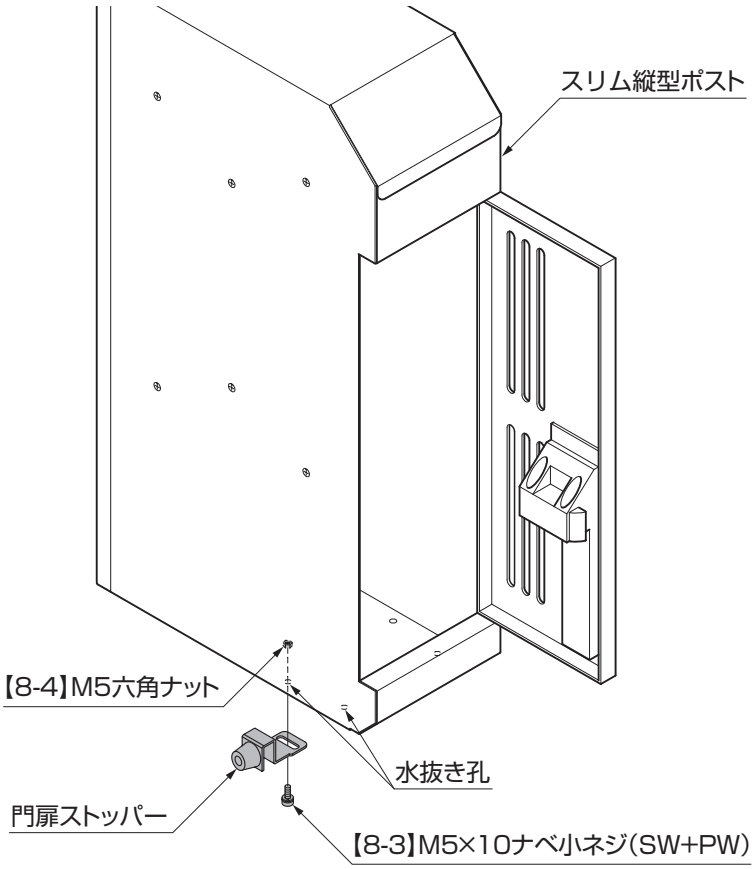
●調整金具は、外観右用になっています。勝手の変更方法は、形材門扉用門柱の取付説明書〈A278〉を参照してください。
●門扉本体にオートクローザーを使用する場合は、調整金具を上下逆に取付けてください。(図9-1参照)

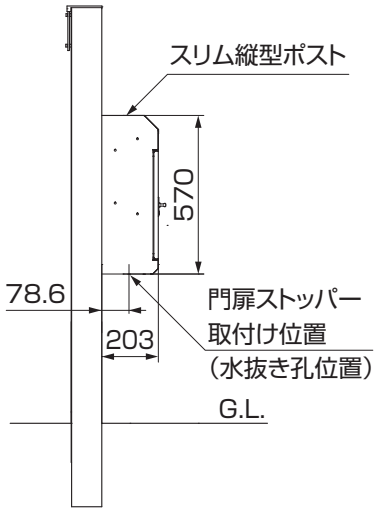
③調整金具(上)、(下)を【8-1】で固定してください。
④ワッシャーを調整金具に取付けてください。

A459_200802A

9. 門柱仕様の取付け（つづき）

9-2 門扉ストッパーの取付け





①図にしたがい、門扉を取付ける側に門扉ストッパーを【8-3】、【8-4】で固定してください。

補足

●門扉のデザインによっては水抜き孔の位置では、門扉が門扉ストッパーに当たらない場合があります。その場合はポスト底面にφ5.5の取付け孔をあけて、門扉ストッパーに当たるように調整してください。

②門扉をあけ、門扉ストッパーに当たるように微調整してください。

取説コード
A459

JZZ615353A
200802A_1041
200903B_1041